取扱説明書

iriver

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊　社サポートセンターまでご連絡ください。
④当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了　承ください。
⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や　誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご　了承ください。

はじめに

この度はP7をお買い上げいただきありがとうございます。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」および「取扱説明書」の内容をよくお読みください。

注意

・本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
・本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
・本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
・記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

目次

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●風呂場・シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

警　告

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・故障・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

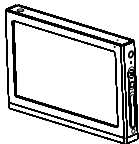
電源プラグをコンセントから抜け

●この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

●この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

注　意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。

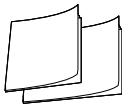
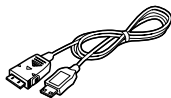
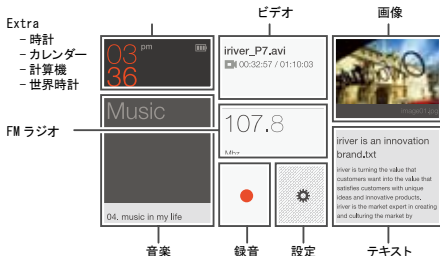
●イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

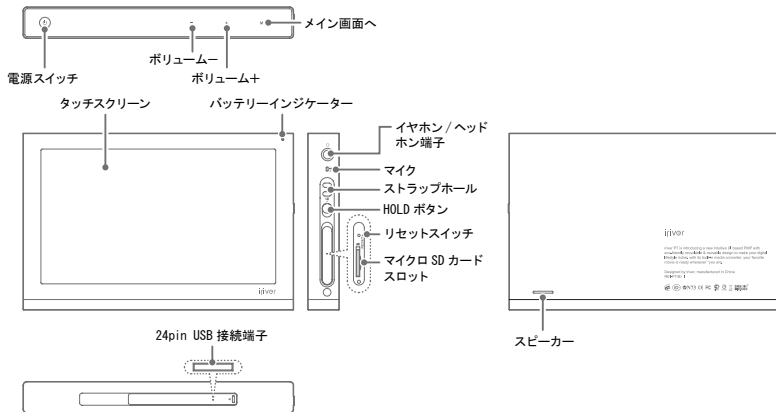
●再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

●自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。

●大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

●カバンやポケットに入れて、持ち運ぶ際、ディスプレイや外装が破損する場合がございます。ご注意ください。

パッケージ内容の確認

※ CD-ROM は 8cm 非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。
※付属品の形状が異なる場合があります。

各部の名称

※外観や各部の構成、製品の印字など予告なく変更することがあります。ご了承ください。

メイン画面

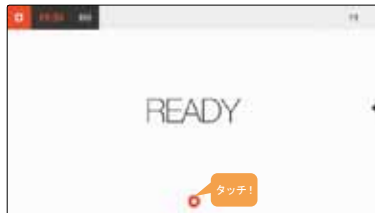
①電源を入れるとメイン画面が表示されます。

②メイン画面は下記のようになっています。「Extra」「音楽」「動画」「FM ラジオ」「録音」「設定」「画像」「テキスト」の各モードがあります。タッチスクリーンにタッチすると、それぞれのモード画面に切り替わります。

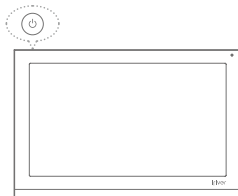
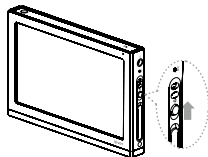
③操作中に画面右上に現われる［M］アイコンにタッチすると、メイン画面へ戻ります。
［←］にタッチすると、前の画面へ戻ります。

タッチスクリーン

タッチスクリーンの使い方

① P7 はタッチスクリーンシステムを採用しています。画面の中のアイコンをタッチして操作を行うことができます。

・先の鋭いもので画面をタッチしないでください。故障や傷の原因となります。
・必要以上に強く押さないでください。画面がへこむなど致命的な故障の原因となることがあります。

電源の入れ方・切り方

① [⏻] を押すと電源が入ります。

②使用中に [⏻] を長押しすると電源を切ることができます。

・P7 にはバッテリーの消耗を抑える自動電源オフ機能があります。操作が行われていないとき設定された時間に従い自動　的に電源が切れます。設定項目は「自動電源オフ」(P.50) をご覧ください。

ホールド機能とリセット

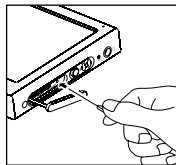
ホールド機能

①ホールドボタンを矢印の方角へスライドさせると、P7 の操作がロックされます。

②反対方向へスライドさせると、ロックが解除されます。

リセット

① P7 が操作を受け付けなくなったときは、リセットスイッチ（P.10）を先の細いもので押してください。

※リセットスイッチのご利用にあたり、必ずマイクロ SD カードがスロットに挿入されていないことを確認してください。挿入されている場合は、先にマイクロ SD カードを取り出した上で、リセットスイッチを押してください。

・日付と時刻の設定もリセットされます。
・クリップなど先が鋭く尖っていない道具を使ってリセットしてください。

接続 / 充電

パソコンとの接続

①パソコンの電源を入れて起動します。

② 同梱の USB ケーブルを使用し、P7 をパソコンと接続します。

③ P7 の画面には次のようなモード選択画面が現れます。

充電&データ転送 : 充電およびパソコンからデータの転送が可能です
充電&再生 : 充電および再生 / 操作が可能です
充電専用 : 充電のみを行います

・USB ハブやキーボードなど周辺機器付属の USB 端子を使用した場合、十分な速度で転送されない場合があります。パソコンの USB2.0 規格の端子を使用してください。
・P7 上で再生機能などが動作中の場合は、パソコンに接続しても十分な操作性が得られない場合があります。P7 のすべての動作を停止した上で接続をお試しください。

パソコンとの接続解除

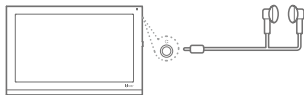
①パソコンから P7 を取り外す場合は、パソコン画面右下のタスクバーにある「ハードウェアの安全な取外し」機能を利用します。

②アイコンをクリックして接続が解除されたら、P7 を USB ケーブルとともに取り外してください。

・「ハードウェアの安全な取外し」機能を使用しないで P7 を取り外した場合、P7 に保存されたデータが損傷する場合があります。
・パソコンの設定によっては、画面右下のタスクバーが隠れている場合があります。< をクリックして、アイコンを表示させてから解除してください。
・他のアプリケーションが P7 を使用しているときは、この機能が使用できない場合があります。ご利用のすべてのアプリケーションを閉じて、接続を解除してください。

接続 / 充電

イヤホンの接続

①イヤホンはイヤホン / ヘッドホン端子に接続してください。

充電

①パソコンの電源を入れて起動します。

② 同梱の USB ケーブルを使用し、P7 をパソコンと接続します。

③自動的に充電が開始されます。

・同梱されている USB ケーブル以外のケーブルを使用した場合、うまく動作しなかったり故障の原因になる場合があります。
・USB ハブやキーボードなど周辺機器付属の USB 端子を使用した場合、十分な充電ができない場合があります。パソコンの USB2.0 規格の端子を使用してください。
・パソコンがスタンバイモードになっているときは、充電が行われない場合があります。
・室内で充電を行ってください。室外など極端に温度が高いまたは低い場所では、充電が正常に行われない場合があります。
・充電は約 7 時間で完了します。P7 を使用しながらの充電はさらに時間を要する場合があります。
・充電中は本体右上のバッテリーインジケータ (P.10) が、赤色に点滅します。充電が完了すると白色に点灯します。

SD カードを使用する

P7 は microSD カード（マイクロエスディーカード） 内にあるデータを再生 / 表示することができます。

① MicroSD カードを P7 の「マイクロＳＤカードスロット」（P.10） に挿入します。

②「音楽」「動画」「画像」 の各モード画面に MicroSD カード内のデータが表示されます。

③各モード内において画面左下の [←] をクリックしていていくと、メモリ選択画面が現れます。
「外部メモリ」 が microSD カードです。

内部メモリ	P7 内の内蔵メモリ
外部メモリ	micsroSD カード

ファイルやフォルダのコピー

ファイルの転送と削除

①音楽・動画・画像などメディアファイルの転送や削除は iriver plus3 を使用すると便利です。詳しくは P.47 ～ 56 をご覧ください。

②各ファイルは P7 内の次のフォルダにコピーされます。

音楽ファイル : Music	画像ファイル : Pictures
動画ファイル : Video	テキストファイル : Ebook

※ Windows Media Player 10 または 11 をご利用になる場合は、USB MTP モードに設定することで機能を最大限に活用できます。

リムーバブルディスクとして使用する

マイ コンピュータにリムーバブルディスクとして表示される「P7」に、マウスを使って各種データファイルの保存や削除、フォルダの作成などができます。容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどにご利用ください。

①パソコンの電源を入れて起動します。

②付属の USB ケーブルで P7 とパソコンを接続します。

③ P7 がマイコンピュータに「IRIVER P7」＊として表示されます。
　＊パソコンによっては表示が異なる場合があります。

④ファイルやフォルダをマウスを使ってドラッグ&ドロップでコピーします。

⑤削除する場合はファイルやフォルダの上で右クリックし「削除 (D)」で削除します。

ファイルやフォルダの削除

①削除したいファイルやフォルダは、マウスで選択したあと右クリックをして現われる「削除 (D)」を左クリックすると削除することができます。選択後、キーボードの DELETE キーでも削除することができます。

②「ファイル削除の確認」画面が現れます。「はい」をクリックすると削除されます。

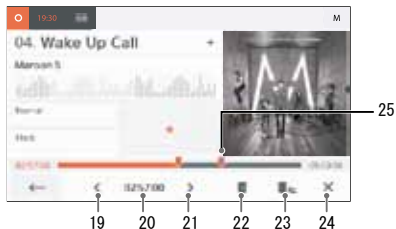
・データが転送されている間は、P7 をパソコンから取り外さないでください。
・大量のファイルを再生する場合、動作に時間がかかる場合があります。
・削除したファイルは、復活できません。十分注意の上、操作を行ってください。

音楽モード

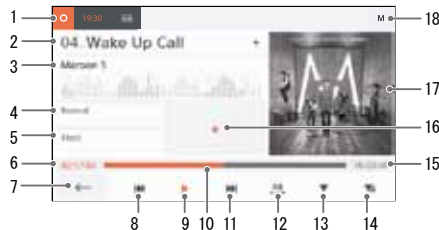
音楽リストからファイルを選ぶ

①メイン画面（P.11）で「音楽」モードにタッチします。
②音楽リストが表示されます。リストに表示された音楽ファイルにタッチして再生します。
ファイルが多い場合は、右の [▲ / ▼] でリストをスクロールできます。

・すでに再生中の曲がある場合は、再生中の画面左下の [←] をタッチすると楽曲リストが表示されます。
・フォルダもタッチして開くことが可能です。[←] で上の階層へもどることができます。
・再生可能ファイルは、MP3/WMA/OGG/FLAC/WAV ファイルです。
・「音楽ファイル検索方法（Misic Browser Type)」の設定で、楽曲の表示順序が変わります。詳しくは P. = をご覧ください。
・iriver plus3 でプレイリストを作成することができます。
・音楽を聴きながら画像およびテキストの表示も可能です。

音楽を再生する

●再生中本体上部の [━ / ✚] ボタンで音量を調節するか、画面の上部をタッチすると音量のバーが現れますのでバーの針の左右をタッチして音量を調節できます。
●再生中に [Ⅱ] にタッチすると一時停止します。もう一度 [▶] にタッチすると再生にもどります。
●再生中に [⏮ / ⏭] を長押しすると、巻き戻し / 早送りすることができます。
●再生中に [AB] をタッチすると、区間リピート（AB リピート）モードに入り A 点が設定されます。もう一度 [AB] をタッチすると B 点が設定され、区間リピート再生を行います。さらに [AB] をタッチすると区間リピートが解除されます。
● [▼] にタッチすると楽曲の任意の位置がブックマークされます。[▼≡] にタッチし、ブックマークメニューバーを表示できます。ブックマークメニューバー上の [▼] にタッチするか、[＜ ＞] でブックマークの位置から再生できます。←で前の画面へ戻ります。
●曲に自分の評価をつけるには、画面中央の [☆] にタッチして自分の評価を設定してください。

音楽モード

音楽再生中の画面

9. 再生 / 一時停止 : 再生および一時停止します。

10. プログレスバー : 音楽の再生状況をバーで表示します。

11. 次の曲へ / 早送り : タッチで次の曲へ移動したり、長押しで早送りします。

12. A-B リピート : A-B 区間のリピートを設定したりオフにします。

13. ブックマーク : ブックマークを設定します。

14. ブックマーク・オプション : ブックマークの設定情報を表示します。

15. 総再生時間 : 再生する音楽の総時間を表示します。

16. 自分の評価 : 楽曲への評価を★の数で設定できます。

17. リスト : 再生できる音楽のリストを表示します。

18. M マーク : メイン画面へもどります。

1. その他の機能 : 音楽再生機能のオプション機能 (カスタム EQ、フェード　イン機能など) を表示します。

2. タイトル : タイトルまたはファイル名を表示します。

3. アーティスト : アーティストの名前を表示します。

4. プレイモード : 現在のプレイモードを表示します。

5. イコライザー : 現在のイコライザー設定を表示します。

6. 経過時間 : 再生している音楽の経過時間を表示します。

7. 前へもどる : 前の画面やフォルダーの 1 つ上の階層へもどります。

8. 前の曲へ / 巻き戻し : タッチで前の曲へ移動したり、長押しで巻き戻し　します。

19. 前のブックマーク : 設定されたブックマークを前方へ移動します。
20. ブックマーク・タイム : ブックマークされた位置の時間を表示します。
21. 次のブックマーク : 設定されたブックマークを後方へ移動します。
22. ブックマーク削除 : ブックマークを設定順に 1 つずつ削除します。
23. ブックマークすべて削除 : すべてのブックマークを削除します。
24. 再生中画面へもどる : 再生/選択されている楽曲の画面へもどります。
25. ブックマーク・インジケーター : 楽曲中のブックマークされた場所を示します。

その他の機能

①再生中に [○] にタッチすると「その他の機能」を表示します。

②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] で前の画面へ戻ります。

④画面を閉じるには、[○] にタッチします。

● SRS WOW HD : サウンド拡張機能で音に豊かさを与えます
-SRS(Sound Retrieval System) : 3D サウンド（立体音響）効果　設定値 1 ～ 10
-TruBass : 重低音を提供します　設定値 1 ～ 10
-FOCUS : 音の輪郭をはっきりとさせます　設定値 : 低 / 中 / 高
-WOW : 低音域を補正した輪郭のはっきりしたサウンドを提供します　設定値 : 0 ～ 7
-Definition : 高音域を補正したブリリアントなサウンドを提供します　設定値 : 1 ～ 10

●カスタム EQ : イコライザ設定をカスタマイズできます
周波数帯 : 60Hz, 200Hz, 500Hz, 1KHz, 3KHz, 6KHz, 12KHz
設定値 : -100 ～ 100

●フェードイン : フェードイン機能のオン・オフを行います
設定値 ; On / Off

動画モード

動画リストからファイルを選ぶ

①メイン画面（P.11）で「動画」モードを選択します。

②動画リストが表示されます。リストに表示された動画ファイルにタッチして再生します。ファイルが多い場合は、右の［ ∧ / ∨ ］でリストをスクロールできます。

・すでに再生中の曲がある場合は、再生中の画面の［←］をタッチすると動画ファイルリストが表示されます。
・フォルダもタッチして開くことが可能です。［←］で上の階層へもどることができます。
・再生可能ファイルは次のとおりです。

対応ファイルフォーマット	AVI, WMV, MP4, RM, MPG, FLV,			
対応コーデック	MPEG-1, MPEG-2, MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP(B-VOP), Xvid, WMV 7/8/9, RM, H.264 Baseline Profile			
解像度 / ビットレート / オーディオ	コーデック	解像度	ビットレート	オーディオ
	MPEG1, MPEG2	～ 640x480	～ 1.2Mbps	MP3
	MPEG4 SP/ASP, XviD		～ 1.5Mbps	MP3, PCM
	WMV		～ 750kbps	WMA
	RM		～ 500kbps	Real Audio（G2 はサポート外）
	H.264 Baseline Profile	～ 352x288	～ 350kbps	MP3
	FLV		～ 30fps	MP3
フレームレート（FPS）	～ 30fps			

・動画ファイルを転送するには、iriver plus3 をご利用ください。

動画モード

動画を再生する

●再生中本体上部の－／＋ボタンで音量を調節するか、画面の上部をタッチすると音量のバーが現れますのでバーの針の左右をタッチして音量を調節できます。

●再生中に [‖] にタッチすると一時停止します。もう一度 [▶] にタッチすると再生にもどります。

●再生中に [⏮/ ⏭] を長押しすると、巻き戻し / 早送りすることができます。

●▼にタッチすると動画の任意の位置がブックマークされます。[▼] にタッチし、ブックマークメニューバーを表示できます。ブックマークメニューバー上の [▼] にタッチするか [く　>] でブックマークの位置から再生できます。[←] で前の　画面へ戻ります。

●プログレスバーの任意の位置にタッチすると、その位置から再生します。

動画再生中の画面

1. その他の機能 : 動画再生のオプション機能を表示します。
2. プログレスバー : 動画の再生状況をバーで表示します。
3. 経過時間 : 再生している動画の経過時間を表示します。
4. 前へ戻る : 前の画面やフォルダーの 1 つ上の階層へ戻ります。
5. 前の曲へ / 巻き戻し : タッチで前の動画へ移動したり、長押しで巻き戻し　します。
6. 再生 / 一時停止 : 再生および一時停止します。
7. 次の曲へ / 早送り : タッチで次の動画へ移動したり、長押しで早送りします。
8. ブックマーク : ブックマークを設定します。
9. ブックマーク・オプション : ブックマークの設定情　報を表示します。
10. 総再生時間 : 再生する動画の総時間を表示します。
11. サブタイトル : 字幕つきの動画は字幕を表示します。
12. M マーク : メイン画面へもどります。

13. 前のブックマーク：設定されたブックマークを前方へ移動します。
14. ブックマーク・タイム：ブックマークされた位置の時間を表示します。
15. 次のブックマーク：設定されたブックマークを後方へ移動します。
16. ブックマーク削除：現在選択されているブックマークの開始位置を削除します。
（＝ブックマーク位置が優先されるか、再生位置が優先されるのか要検証）
17. ブックマークすべて削除：該当の動画に設定されたすべてのブックマークを削除します。
18. 再生中画面へもどる：再生 / 選択されている動画の再生画面へもどります。
19. ブックマーク・インジケーター：動画中のブックマー　クされた場所を示します。

動画モード

その他の機能

①再生中に [○] にタッチすると「その他の機能」を表示します。

②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] で前の画面へ戻ります。

④その他の機能」画面を閉じるには、[○] にタッチします。

●比率 : 画面表示を切り替えます
- 元の比率 : 動画ファイルがもつオリジナルの画面比率で表示します
- 全画面フィット : 画面サイズにひきのばして表示します
- ズームなし : 拡大しないで表示します (要検証)

●動画オプション :
- Scan Speed : 動画の早送り / 巻き戻し速度を設定します。(× 1, × 2, × 4, × 8)
- 再生モード : 次のモードを設定します
  - 通常再生 ………………… 動画をつづけて再生します
  - Sequential Play… 選択された動画を繰り返し再生します (=実機で検証すること)
  - Repeat ……………… 選択された動画を繰り返し再生します (=実機で検証すること)

●サブタイトル

字幕付ファイルの字幕に関する文字の色やフォントを設定します

※本機能はサポート対象外です。ご了承ください。

画像モード

画像リストからファイルを選ぶ

①メイン画面 (P.11) で「画像」モードを選択します。

②画像のサムネール（一覧）が表示されます。サムネールに表示された画像にタッチして画像を表示します。ファイルが多い場合は、右の [∧ / ∨] でリストをスクロールできます。

・すでに表示中の画像がある場合は、画面の [←] をタッチするとサムネール画面へもどります。
・フォルダーもタッチして開くことが可能です。[←] で上の階層へもどることができます。
・表示可能ファイルは、JPEG、BMP、GIF ファイルです。ただしファイルの形式により、すべての画像が表示されるわけではありません。
・画像ファイルを転送するには、iriver plus3 をご利用ください。(ip3 に画像転送項目がないがどうするか＝

画像を表示する

●画像表示画面の下にある [▶] にタッチするとスライドショーが始まります。

●スライドショーの途中で画面にタッチすると画面上下に操作画面が現れます。しばらくするとまたスライドショーが始まります。スライドショーを一時停止するには、[Ⅱ] にタッチしてください。もう一度 [▶] にタッチするとスライドショーにもどります。

●一時停止中に [↷] を押すと、画像が 90 度づつ回転します。

●一時停止中に画面右にあらわれる [Zoom] にタッチして倍率を選択すると画像がズーム（拡大）表示されます。[default] でオリジナルサイズへもどります。

※ズーム機能は画像の解像度によっては、動作しない場合があります。

画像表示中の画面

1. その他の機能 : 画像表示のオプション機能を表示します。
2. 前へもどる : 前の画面へもどります。
3. 再生 / 一時停止 : スライドショーの開始および一時停止。
4. 回転 : 画像を回転表示します (一時停止中のみ)。
5.Zoom (ズーム) : ズーム表示機能。
6.M マーク : メイン画面へもどります。

画像モード

その他の機能

①画像表示中またはスライドショー停止中に [○] にタッチすると「その他の機能」を表示します。

②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] で前の画面へ戻ります。

④「その他の機能」画面を閉じるには、[○] にタッチします。

●画像表示時間 : スライドショーの切り替え時間の設定をします。　設定値 : 3, 5, 7, 9 秒

●スライド表示効果 : スライドショー画面が切り替わるときの効果の設定します

●スクリーンフィット : On に設定すると画面のヨコまたはタテのどちらかに画像をフィット
させて表示します

FM ラジオモード

FM ラジオ選局

①メイン画面（P.11）に表示されている周波数にタッチします。「FM ラジオ」モードに切り替わります。

②［く/〉］でプリセットされたチャンネル間を移動します。

※初めてご使用になる場合は「その他の機能」（P. =）で「FM 地域設定」を「日本」に設定してください。
※オートプリセット（自動検索）機能については、P.33 をご覧ください。

FMラジオモード

FMラジオを聴く

●画面右下の[Preset on / Preset off]をタッチすると、FM局のプリセットのオン/オフができます。

●プリセットをオフにすると で周波数を左右に移動することができます。[◁/▷]を長押しす るとプリセットされたチャンネル間を早く移動します。

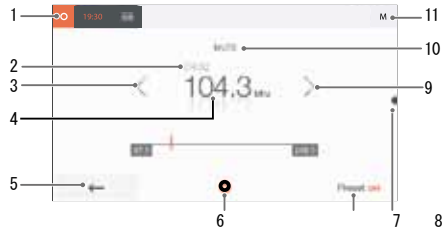
●本体上部の[－/＋] で音量を調節することができます。

●FMラジオ放送を聴いているときに画面中央下部の[◉]にタッチすると、FMラジオ録音が開始されます。もう一度タッチすると録音が停止します。

●FMラジオ放送を聴いているときに画面右の[◀]にタッチし、左方向へドラッグすると「チャンネルリスト」(CH List) と「録音ファイルリスト」(REC List) が表示されます。

●プリセットされたチャンネルまたは録音ファイル名にタッチして、選局およびファイルの再生をすることができます。

・イヤホンのコードがアンテナの役割をします。イヤホンを装着してご使用ください。
・FMラジオを聴きながら画像およびテキストの表示も可能です。
・録音をするためのメモリ容量の空きスペースやバッテリー充電が十分ではない場合、P7は自動的に録音を停止します。
・録音されたファイルは画面右の[◀]にタッチしてあらわれる「録音ファイルリスト」(REC List) に次のファイル名で保存されます。
TYYMMDDXXX.WMA (YY:年、MM:月、DD:日、XXX:連番)
・録音時間は録音品質設定 (P. =) によって変化します。
・[MUTE](P.32) にタッチすると、音を一時的に消すことができます。

FM ラジオの画面

9. 次へ : 次のチャンネルや周波数へ移動します。

10. ミュート : タッチするとミュート（無音）状態になり音が聞こえなくなります。もう一度タッチすると　ミュート機能が解除されます。

11. M マーク : メイン画面へもどります。

1. その他の機能 : FM ラジオに関する設定項目を表示します。

2. チャンネル : 現在選局されているチャンネルを表示します。

3. 前へ : 前のチャンネルや周波数へ移動します。

4. 周波数 : 現在聴いている放送局の周波数を表示します。

5. 前の画面へ : 前の画面やフォルダの上位階層へ移動します。

6. 録音 / 停止 : 聞いている放送局の放送を録音および録音停止することがで　きます。

7. プリセットオン / オフ : 放送局のプリセットのオン / オフが可能です。

8. チャンネルリスト / 録音ファイルリスト:　タッチするとプリセットされた　チャンネルリストと録音ファイルリストが現れます。

12. チャンネルリスト：
 – リストの右側にある［ー］にタッチすることで、プリセットが削除されます。空のチャンネルは［＋］のマークが表示されます。
 –FM ラジオ放送を聴いているときに［＋］にタッチすると、その項目に放送局がプリセットされます。

13. 録音ファイルリスト
 – 録音ファイルリストの右側にある［ー］にタッチすると、［ファイル削除］のメッセージが現れます。「はい」を選択すると、ファイルが削除されます。

その他の機能

①再生中に画面左上の [○] にタッチすると「その他の機能」を表示します。

②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] にタッチすると前の画面へ戻ります。

④「その他の機能」画面を閉じるには、[○] にタッチします。

●自動検索 : 受信可能な放送局を検知しプリセットチャンネルに登録します。
- プリセットは 30 チャンネルまで登録可能です。

● FM 地域設定 : FM 放送を受信する地域の設定を行います。
- 韓国 / アメリカ　87.5 ～ 108.0Mhz
- 日本　76.0 ～ 108.0Mhz
- ヨーロッパ : 87.50 ～ 108.00Mhz

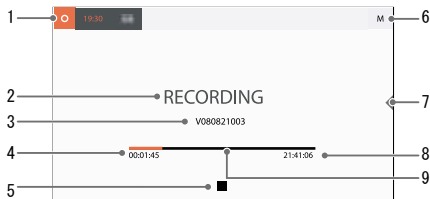
●録音品質 : FM ラジオ録音の録音品質を設定します。
低 : 約 64kbps　中 : 約 96kbps　高 : 約 128kbps
※ FM ラジオ録音は FM ラジオ画面 (P. =) の 6 にタッチして行います。

録音

①メイン画面（P.11）で［●］（録音モード）を選択します。

②［◉］にタッチしてボイス録音を開始します。録音を停止、保存するには［■］にタッチします。

・録音中はボリュームを調整できません。
・録音をするためのメモリ容量の空きスペースやバッテリー充電が十分ではない場合、P7 は自動的に録音を停止します。
・録音されたファイルは画面右の［◀］にタッチするとあらわれる「ボイス録音リスト」に次のファイル名で保存されます。
　VYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：連番）
・録音時間は録音品質設定（P. =）によって変化します。

ボイス録音中の画面

1. その他の機能 : 録音に関する設定項目。
2. ステータス : READY/RECORDING/SAVING を表示します。
3. 録音ファイル名 : 録音ファイル名を表示します。
4. 録音経過時間 : 録音の経過時間を表示します。
5. 録音 / 停止 : 録音および停止・保存を行います。
6.M マーク : メイン画面へもどります。
7. ボイス録音リスト
8. 録音可能時間 : 録音可能な残り時間を表示します。
9. プログレスバー : 録音状況をバーで表示します。

録音

ボイス録音ファイルを再生する

①録音待機中（READY）に画面右の［◀］にタッチし左方向へドラッグすると、「ボイス録音リスト」があらわれます。

②再生したいファイル名にタッチすると録音ファイルが再生されます。

録音ファイルの削除

①録音待機中に画面右の［◀］にタッチし左方向へドラッグすると、「ボイス録音リスト」があらわれます。

②削除したいファイル名の右にある［－］にタッチすると、「ファイルの削除」確認画面があらわれます。「はい」を選択するとファイルが削除されます。

その他の機能

①録音待機中（READY）に画面左上の［ ○ ］にタッチすると「録音品質」の設定項目が現れます。

②「低 / 中 / 高」から録音品質を設定します。画面を閉じるには、［ ○ ］にタッチします。

●録音品質 : ボイス録音の録音品質を設定します。
低 : 64kbps　中 : 96kbps　高 : 128kbps

テキスト

テキストを選ぶ

①メイン画面 (P.11) で「テキスト」モードを選択します。

②テキストのリストが表示されます。表示したいファイル名にタッチして、テキストを表示します。

・すでに表示中のテキストがある場合は、画面左下の [←] をタッチするとテキストのリストが表示されます。

テキストを見る

● [∧ / ∨] でテキストをスクロール表示することができます。

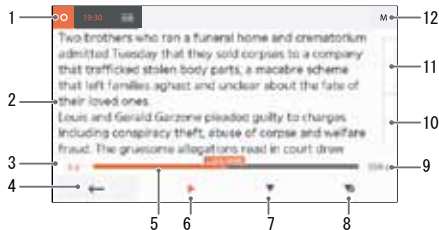
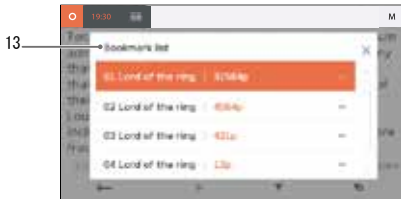
● [▶ / Ⅱ] で自動ページスクロール機能をオンオフすることができます。

●プログレスバー (P. =) が表示されているとき任意の場所にタッチすると、テキストのページを任意にジャンプすることができます。

●表示をやめた場所（ページ）を P7 は記憶します。(=これは機能していない可能性あり。アンドリューに聞くと英語マニュアルのこの部分はブックマーク機能とのこと)

● [←] で前の画面へもどることができます (=)。

・フォルダ内のファイルも表示することができます。[←] で上の階層へも移動することができます。
・文字化けなどテキストファイルが正しく表示されない場合、「言語」設定 (P. =) を正しく設定してください。

テキスト表示画面

1. その他の機能 : テキスト表示に関する設定項目を表示します。
2. テキスト : テキストファイルの内容が表示されます。
3. ページ番号 : 現在表示中のページ番号です。
4. 前の画面へ : 前の画面やフォルダの上位階層へ移動します。
5. プログレスバー : バーがテキストファイルの全体の長さを表します。
   タッチするとテキストファイルの該当のページを表示します。
6. オートスクロール : [▶] タッチすると開始し、[‖] にタッチすると停止します。
7. ブックマーク : 表示しているページを記憶します。
8. ブックマークリスト : ブックマークされた情報のリスト画面が表示されます。
9. 総ページ数 : テキストファイルの総ページ数を表示　します。
10. スクロール (∨) : テキスト表示を下にスクロールします。
11. スクロール (∧) : テキスト表示を上にスクロールします。
12. M マーク : メイン画面へもどります。

13. ブックマークリスト画面：

– リストにタッチするとブックマークされたテキストファイルの該当ページが表示されます。

– リストの右にある [–] にタッチするとブックマークが消去されます。

＊消去確認の画面は出ません。

テキストモード

その他の機能

①テキスト再生中に [○] にタッチすると「その他の機能」を表示します。

②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] にタッチすると前の画面へ戻ります。

④画面を閉じるには、[○] にタッチします。

●文字サイズ : テキストの文字サイズを設定します。
- 大 / 標準 / 小

●自動スクロール速度 : テキストをページごとに自動スクロールするタイミングを切り替えます。
- 3 秒 / 5 秒 / 7 秒 /10 秒

●言語 : 表示するテキストの言語を設定します。

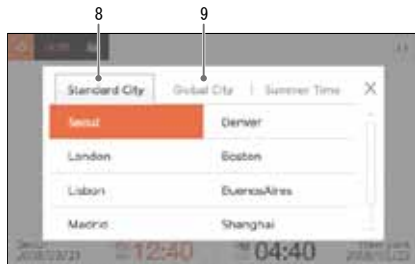
EXTRA

「EXTRA」モードには［時計］［カレンダ］［電卓］の機能があります。

時計を設定する

①メイン画面（P.11）に表示されている「EXTRA」モードにタッチします。［世界時計］が表示されます。

②画面下のスタンダードシティー（左）またはグローバルシティー（右）にタッチして、それぞれの都市を設定してください。

世界時計の画面

1. その他の機能 : EXTRA モードに関する設定項目を表示します。
2. スタンダードシティーと日付 : 標準になる都市と日付を表示します。
3. スタンダードシティーの時刻 : 標準になる都市の時刻を表示します。
4. グローバルシティーの時刻 : 標準都市以外の都市の時刻を表示します。
5. グローバルシティーと日付 : 標準都市以外の都市名と日付を表示します。
6. 都市の選択 : 都市を設定する画面を表示します。
7. M マーク : メイン画面へもどります。
8. スタンダードシティー : 標準都市を設定します。
9. グローバルシティー : : 標準都市以外の都市を設定します。

その他の機能

①画面左上の [○] にタッチすると「その他の機能」 を表示します。

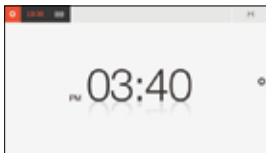
②現れた各項目をさらにタッチすると、設定画面等が現れます。

③各設定項目にタッチして、設定を行います。設定画面右上の [く] にタッチすると前の画面へ戻ります。

④画面を閉じるには、[○] にタッチします。

●時計 : 現在時刻を表示・設定します。

- 画面左の ☼ タッチすると [∧ / ∨] があらわれ、時刻の設定を行うことができます。

次ページへ続く

●カレンダ : カレンダー電卓を表示します。
- カレンダー画面の [〈/〉] で、前後の月へ移動することができます。

●電卓 : 電卓を表示します。
- 電卓の画面にタッチして、計算を行うことができます。

次ページへ続く

●世界時計：世界時計を表示します。

設定

「設定」モード各種設定を行うことができます。ファームウェアのバージョンによっては、画面にあらわれる項目が異なることがあります。

設定画面の操作について

①メイン画面（P.11）で「設定」モードを選択します。

②画面左の各項目にタッチすると、サブメニューがあらわれます。

③各設定値にタッチすると P7 は設定を記憶します。

現在時刻設定

現在の日付と時刻を設定します。

①変更したい部分にタッチすると［ ∧ / ∨ ］がその項目の上下にあらわれます。

②［ ∧ / ∨ ］で設定を変更します。

2009. 04. 27 PM 04:24

画面

●明るさ
- 画面の明るさを設定します。

●タッチサウンド
- 画面にタッチしたときのサウンドをオン / オフします。
※オンにした場合でもすべての画面操作でタッチ音がでるわけではありません（=リストで音が出ないがこれ不要?）

●タッチスクリーン調整
- 画面のタッチ位置の調整を行います。
-[スタート] にタッチした後、画面にあらわれる [＋] にタッチしてください。
※設定が自動的に終了するまで時間がかかることがあります。

タイマー

●自動電源オフ
- 操作が行われていないとき、設定された時間が経過すると自動的に電源がオフになります。

●バックライト
- 設定された時間が経過したあと、液晶画面のバックライトがオフになります。画面にタッチするとバックライトは点灯します。

拡張設定

●音楽ファイル検索方法
音楽ファイルの検索方法を設定します
- DB（データベース）検索：iriver plus 3 で転送した曲や ID3 タグ、プレイリストなどから曲を検索・表示する設定です。
- フォルダ検索
Windows からドラッグ&ドロップで転送されたファイルを検索（=表示?）する場合に選択します。
*初期設定は「DB 検索」になっています

● DB 再作成
- 格納されている音楽ファイルの DB（データベース）を再構築します。

●転送方式
- USB MSC：iriver plus3 を使用したり、Windows からドラッグ&ドロップでファイルを転送する時に設定します。
-Windows Media Player から曲を同期させる時に設定します。

言語

●メニュー言語
メニュー画面に表示される言語を設定します。

●国家（表示言語）
ID3 タグやテキストの言語を設定します。

システム情報

●バージョン番号
ファームウェアのバージョン番号を表示します。

●設定の初期化
工場出荷時の設定にもどします。
*現在日時設定は保持されます。

●内部メモリ
内蔵メモリ容量と使用中の容量を表示します。
使用容量　内蔵メモリ容量

●外部メモリ
外部メモリ容量と使用中の容量を表示します。
* Micro SD カードが [マイクロ SD カードスロット](P. =) に挿入されている場合この項目が表示されます。

iriver plus3 を使用する

iriver plus3 をインストールする

iriver plus3 は、様々なマルチメディアファイルを効率的に扱えるソフトウェアです。お持ちの PC から P7 へ、音楽・画像ファイルの転送を簡単に行うことができます。

①同梱の iriver plus3 の CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブへセットしてください。
インストールの画面が現れます。

②「iriver plus3」をクリックし、画面にしたがってインストールを行ってください。

※ 8cm 非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。

ご使用にあたって

iriver plus3 をご使用いただくには、転送方式 (P. =) を MSC に設定する必要があります。転送方式を切り替えるとプレーヤーはフォーマットされます。データが消去されますのでご注意ください。

■動作環境

・Windows® 2000/XP

-CPU: Intel® Pentium® II 233 MHz 以上	-メモリ: 64 MB 以上
-ハードディスク容量: 30 MB 以上の空き容量	-16 ビット サウンドカード
-Microsoft Internet Explorer version 6.0 以降	-表示 : SVGA (1024x768 ピクセル) 以上の解像度

・Windows® Vista (Windows® Vista は 32 ビット版のみ対応)

-CPU: Intel® Pentium® II 800MHz 以上	-メモリ: 512 MB 以上
-ハードディスク容量: 30 MB 以上の空き容量	-16 ビット サウンドカード
-Microsoft Internet Explorer version 6.0 以降	-表示 : SVGA (1024x768 ピクセル) 以上の解像度

iriver plus3 を使用する

ここでは音楽 CD から楽曲を転送する方法をご案内します。

iriver plus3 のライブラリに楽曲を登録する

オーディオ CD のファイルを iriver plus3 のライブラリへ録音します。CD から録音した音楽ファイルはパソコンのハードディスクへ保存されますので、CD を取り出した後でも音楽を再生することが可能になります。
※ CD を再生中は［CD から録音］をできません。「再生を停止しますか?」というメッセージが出たら「はい」をクリックしてください。

①オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

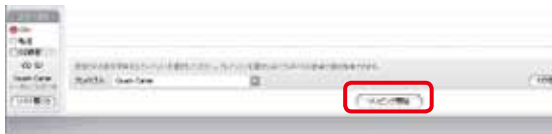
②画面左下の「CD 録音」をクリックした後、「リスト表示」をクリックします。

※音楽を転送する前に、タグ表示の言語（P.29）を日本に設定してください。

iriver plus3 を使用する

③曲情報を取得します。CD トラックの楽曲情報が自動で表示されない場合は、画面右下の「CD 情報検索」ボタンをクリックし、AMG（インターネット上の音楽情報データベース）から CD の情報を取得します。
※この機能を使用するには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

④録音したい曲を選びます。録音したい曲にチェックマークを入れます。

⑤「リッピング開始」ボタンをクリックします。

・録音中はそれぞれのトラックに録音経過状態が表示されます。
・録音を中止するときは「リッピング中止」ボタンをクリックします。

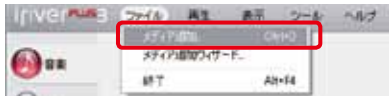
⑥チェックを入れた楽曲のステータスが「終了」になったのを確認して、「リストを閉じる」ボタンをクリックします。

・録音された音楽はライブラリの「すべての音楽」に追加されます。
・録音された音楽はパソコンの［マイドキュメント］―［マイミュージック］フォルダに保存されオーディオ CD なしでも音楽を再生できます。
（パソコンの OS が Windows Vista の場合はユーザー名のフォルダの中の MUSIC フォルダ）

音楽ファイルをライブラリに追加する

ライブラリの音楽ファイルについて

iriver plus3 のライブラリリストには、オーディオ CD から取り込んだ音楽、インターネットからダウンロードした音楽、パソコンにすでに保存されている音楽を追加できます。
音楽ファイルをライブラリに追加すると、iriver plus3 で再生したり、特定の曲だけを集めたプレイリストを作成して簡単に便利に音楽ファイルの管理や編集ができます。

パソコンのハードディスクとライブラリリスト

ライブラリリストに音楽ファイルを追加すると、iriver plus3 で活用できるデータベースとして登録されたことを意味し、音楽ファイル自体が iriver plus3 内に保存されるわけではありません。音楽ファイル自体はパソコンのハードディスク内に保存された状態のままです。
ハードディスク内でファイルを移動、削除、ファイル名の変更をした場合、iriver plus3 はこれらのファイルの検出、転送ができなくなります。そのため、もう一度ライブラリリストに追加することが必要になります。
※検出されなかったファイルはマークが表示されます。

iriver plus3 を使用する

パソコンに保存されている音楽ファイルをリストに追加する

①「ファイル」－「メディア追加」
を選択します。

②保存先から追加したいファイルやフォルダを選びます。

・ウィンドウの左側から「My Music」に保存された音楽ファイルのフォルダを選択します。
・選択したフォルダは右側のウィンドウに表示されます。追加したいファイルやフォルダを選び、「追加」ボタンをクリックします。
※複数のファイルやフォルダを選択したい場合はキーボードの「Ctrl」を押しながらフォルダをクリックします。

iriver plus3 を使用する

音楽ファイルをプレーヤーへ転送する

メディアウィンドウのライブラリリストにある音楽ファイルをプレーヤーに転送します。
※プレーヤーの空き容量が不足していると、転送が中断されます。ご注意ください。

①プレーヤーとパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

②リストから転送したいファイルを選択します。複数のファイルを選択するときは
[Shift] キーを押しながらファイルを選択していきます。

③選択したファイルをプレーヤー側のウィンドウにドラッグ & ドロップします。
※転送ボタンを押しても転送が可能です。
※ Shift キー : 連続した複数の項目を一気に選択するときは、Shift キーを押しながら最初と最後の項を選択します。
※ Ctrl キー : 連続しない複数の項目を選択するときは、Ctrl キーを押しながら一つずつ選択します。

- 転送の状況はステータスバーに表示されます。
- 転送が完了したら、音楽ファイルは プレーヤー側のウィンドウに表示されます。
- 大量のファイルを転送した場合、プレーヤーが情報を更新するのに数分間時間を要する場合があります。更新中は電源をオフにしたりリセットスイッチを押さないでください。情報の更新に失敗し、うまく再生できなくなります。
- 511 文字（パス名とファイル名を合わせた半角英数字）を超えるファイルは転送できません。

プレーヤーの音楽ファイルを削除する

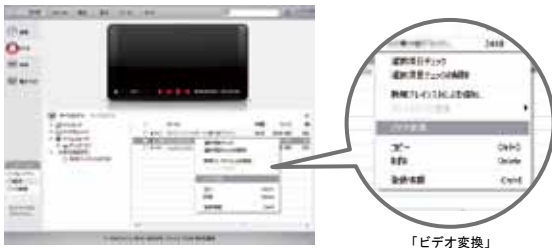
①右クリックで「削除」を選択します。選んだファイル上で右クリックをし、[削除] を選択します。

②確認画面が表示たら、「はい」をクリックします。

動画ファイルを変換・転送する

iriver plus3 でお持ちの動画を P7 が再生できる SMV 形式に変換することができます。

①画面左上の「ビデオ」を選択すると、「ビデオ」モード画面になります。

②変換したい動画ファイルの上でマウスを右クリックすると「ビデオ変換」という項目がありますので、左クリックをして選択します。

「ビデオ変換」

iriver plus3 を使用する

③「ビデオ変換」の画面が現れます。左上のモデル欄を「P7」に設定し、右下の「変換開始」ボタンを押します。自動的にファイルの変換が始まります。

④ P7 を USB ケーブルを使用して PC へ接続し、iriver plus3 の「ビデオ」モード画面で変換したファイル（タイトルの前に[P7] の表示）にチェックを入れ矢印ボタンを押 すか、そのファイルを画面下部へドラッグドロップすると、ファイルが転送されます。

⑤ P7 で動画再生をお楽しみください。

・P7 は SMV ファイルに対応しています。

Windows Media Player11 を使用する

Windows Media Player11 がもつ様々な機能をご利用いただくには、転送方式 (P. =) を MTP に設定することでその機能を十分に発揮できます。
※ MSC (UMS) モードでご利用になっていたデータ (iriver plus3 で転送したデータ) は、MTP モードへ変更することによりフォーマットされ消えてしまいますので、ご注意ください。

ファイルの転送

① P7 を USB ケーブルを使用して PC に接続します。Windows Media Player11 も起動します。

② Windows Media Player11 の同期の画面を開きます。画面内に表示されているファイルを、マウスで画面右側の同期リストへドラッグ&ドロップします。

③「同期の開始 (S)」をクリックすると、転送が開始されます。

CD の録音

① CD を PC の CD-ROM ドライブへセットします。Windows Media Player11 も起動します。

② Windows Media Player11 の「取り込み」タブを選び、録音したい曲のチェックボックスをクリックしてチェックをいれます。「取り込みの開始 (S)」ボタンを押すと、録音を開始します。

③ 録音されたファイルは、Windows の My Documents の中の My Music フォルダ (XP)、またはユーザー名のフォルダの中の MUSIC フォルダ (Vista) に保存されます。

・詳しくは、弊社サポートサイトをご覧ください。(P.60)

P7 ご使用にあたり

● P7 内部に異物が入らないようご注意ください。
● P7 に必要以上に強い圧力や衝撃を与えないようご注意ください。落下させないようご注意ください。
● P7 を温度や湿度の高い場所に放置したりしないでください。また極端にほこりっぽい場所や煙などがかかる場所も避けてください。
●水や飲み物など液体がかからないようご注意ください（水が浸水した場合保証の対象外となる場合があります=これは英語マニュアルの内容）。
● P7 を分解しないでください。
● P7 をテレビやモニター、スピーカーなど磁気の強い製品の近くや、磁気の強い場所で使用したり放置しないでください。
●洗剤や化学薬品などを P7 につけたり、拭いたりしないでください。
●複数のボタンやタッチ部分を同時に押したり、操作しようとしないでください。故障の原因となります。
● P7 へ PC に接続しデータを転送しているときは USB ケーブルを抜かないようにしてください。データ消失や P7 の故障の原因となります。
● USB ケーブルを使用して P7 を PC に接続する場合は、PC 本体の USB ポートに直接接続してください。キーボードやハブなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。
●イヤホンジャックには、イヤホン以外のものを接続しないでください。
●液晶画面にタッチする場合は、先のとがったものでタッチしないでください。キズが故障の原因になります。
●液晶画面に保護フィルムを貼ると、感度が変わる場合があります。

その他

● P7 を使用する場合は周囲を確認し安全な場所で使用してください。
●イヤホンやヘッドホンで音楽を聴きながら自転車、自動車、オートバイなどを運転したり、機械を操作しないでください。地域によっては法律に触れたり使用上危険な場合があります。
●イヤホンやヘッドホンで音楽を聴きながらハイキング、ウォーキング、山登りなどを行うと、ケガをする原因となる場合があります。ご注意ください。
●雷が発生したときは P7 など電気製品のご利用にはご注意ください。ケガの原因となる場合があります。
●耳鳴りや耳に異常を感じた場合は、ボリュームを小さくするか P7 の使用を止めてください。異常に高い音量で音楽等を聴かないでください。耳を傷める恐れがあります。
●イヤホンやヘッドホンのコードに何かがひかっかかったり、誰かが転んだりしないようご注意ください。ケガの原因となる場合があります。
●イヤホンやヘッドホンをしたまま寝ないでください。耳を傷める原因となる場合があります。

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
電源がオンにならない	バッテリが不足している	USB ケーブルでパソコンと接続し、充電してください。
	P7 がシステムエラー状態	本体のリセットボタンを細い形状のもの（ピンなど）で押してください。
画面がすぐに暗くなる	自動電源オフ/バックライト設定	タイマー（P. =）設定の「自動電源オフ」や「バックライト」で設定時間を調節してみてください。
音が聞こえない	音量が 0 になっている	ボリュームボタンを操作して、正しい音量に変更してください。
ボタンが操作できない	ホールドスイッチがロック状態になっている	ホールドスイッチのロックを解除してください。
音楽ファイルの再生中に雑音がする	イヤホン端子の接触不良	市販の端子クリーナーで、イヤホン端子に付着した汚れを清掃してください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、CD から作成し直す、バックアップと入れ替えるなどの対策を試してください。
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルの接続不良	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
FM 放送の受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが外れている、接触不良	イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。 ※イヤホンコードは、ラジオのアンテナの役割をします。イヤホンが P7 に接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	イヤホンコードの向きが悪い	P7 とイヤホンの位置を調整してください。
	周囲で雑音が発生している	周辺にある電気製品の電源をオフにしてみてください。
音声が録音できない	空き容量が不足している	不要なファイルを削除してください。
	バッテリが不足している	充電してください。
起動に時間がかかる	ファイルやフォルダ数が多い	ファイルやフォルダが内蔵メモリ内に大量に存在する場合、読み込みに時間がかかる場合があります。

製品の修理 / 交換について

製品が故障した場合

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。(P.67)
不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。詳しくは、別紙保証書の保証規定をご参照ください。

修理受付

①お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。

②サポートセンター修理担当者が修理または交換の必要性を判断します。

③修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号（RMA 番号）と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。

④不具合品を弊社指定先へ返送整理番号（RMA 番号）を記載してご返送ください。

⑤弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理完了品または交換品を発送いたします。

・修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承願います。
・修理品の受付は、配達記録が残る郵送のみとなります。弊社持込での受付は行っておりません。

製品サポート総合案内

製品サポート総合案内 http://www.iriver.jp/

iriver の Web サイトの「製品サポート総合案内」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

①製品保証書の記入事項　本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

②修理をご依頼の前に　iriver の Web サイト（http://www.iriver.jp/）の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー　サポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

③付属品・オプション（別売）をお求めの場合　本取扱説明書に記載の付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー　サポートセンターの通販窓口またはｅストアまで　お問い合わせください。

アイリバー　サポートセンター

0570-002-220

受付時間：月～金（祝祭日・年末年始を除く）10:00 ～ 18:00
ホームページ　http://www.iriver.jp/

E-mail でのお問い合わせはホームページのメールフォームをご利用ください

製品をアップデートする

ファームウェアとはP7を動かす基本ソフトウェアです。機能や使いやすさを向上させるために、新しいファームウェアを提供することがあります。新しいファームウェアは、アイリバー・ジャパン　サポートセンターから提供されています。詳細は「製品サポート総合案内」（P.60）をご覧ください。

P7の最新情報とファームウェアのアップデートに関しては、弊社Webサイトにてご確認ください。

製品仕様

モデル	モデル名	P7
主な機能	再生・視聴・録画・表示	音楽 / 動画 / 画像 /FM ラジオ / 録音 (FM・ボイス) /E-Book

分類	項目	仕様
本体寸法	(W) X (H) X (D) mm	約 73.4 (W) × 112.3 (H) × 13.6 (D) mm
重量	本体	約 175g
電源	バッテリー	リチウムポリマー蓄電池
	充電時間	約 7 時間 USB ケーブル使用時
定格	容量	1950mAh
ディスプレイ	タイプ	TFT LCD (タッチスクリーン機能) 4.3inch
	解像度 / 表示色	WQVGA 480x272 26 万色
USB	USB マスストレージ	リムーバブルディスクとして表示
	I/F (インターフェイス)	USB 2.0
外部メディア	カードスロット	Micro SD カードスロット
	対応メディア	SDHC 容量 8GB まで
オーディオ	周波数特性	20Hz ~ 20KHz
	イヤホン出力	(L)20mW + (R)20W (16 Ω)
音楽再生	対応ファイル / コーデック	MP3 (MPEG1/2/2.5Layer3), WMA, OGG, APE, FLAC, WAV, AC3
	対応レート	MP3/WMA : 8kbps - 320kbps, OGG : Q1 - Q10、FLAC 0-8
	収録可能曲	約 15,360 曲※ 1
	S/N 比	90dB
	ID3 タグ	ID3 v1, v2.2, v2.3, v2.4 (MP3, WMA, OGG)
	DRM	Windows DRM9 対応

製品仕様

音楽再生	イコライザー	Normal/Rock/Pop/Classic/Jazz/Live/Dance/カスタムEQ/SRS WOW HD
	プレイモード	通常再生 / リピート /1曲リピート / シャッフル / シャッフルリピート
	その他の機能	区間リピート (A-Bリピート)、フェードイン
動画再生 (対応ビットレート・解像度はP.24をご覧ください)	対応ファイルフォーマット	AVI, WMV, MP4, RM, MPG, FLV,
	対応コーデック	MPEG-1, MPEG-2, MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP(B-VOP), Xvid, WMV 7/8/9, RM, H.264 Baseline Profile
画像表示	対応ファイル形式	JPEG (Baseline/Progressive), BMP, GIF
	対応解像度	JPEG: 1000万画素相当対応, BMP: 1600x1200 pixel, GIF: 1000x1000pixel
	Exif	Exif v.2.1 対応
FMラジオ	周波数	76.0MHz ~ 108MHz
	地域	韓国&アメリカ, 日本, ヨーロッパ
録音	録音機能	FM録音, ボイス録音
	録音ファイル形式	WMA
	録音品質(ビットレート)	高 128kbps/中 96kbps/低 64kbps (FM/ボイス共通)
テキスト表示	対応ファイル形式	テキストファイル (*.txt)
	対応エンコード	Shift-JIS, Unicode
表示言語	メニュー言語	14ヶ国語 (中国語は簡体 / 繁体中文)
対応OS	Windows ※2	Windows Vista / XP / 2000
その他	本体 / 機能	世界時計、時計、カレンダ、電卓

※1 演奏時間約4分の曲, 標準的な圧縮レート128kbpsでMP3形式, 約4MBのファイルの場合。

※2WIndows Vista は32ビット版対応。

著作権、登録商標、免責事項

著作権

iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、および動画は著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。

登録商標

・Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows Media Player は、Microsoft Corp. の登録商標です。

免責事項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、および販売店は、このような損害に対して責任を負いかねます。
本書の情報は現行の製品仕様に合わせて作成したものです。
製造者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。